

2016年3月22日  
株式会社 住金システム建築  
代表取締役社長 加藤真一郎

### 東関東地区で受注躍進

東関東営業チーム（津之浦チーム長）の受注が好調である。今期の通期受注高は前期12.8億円の23%増となる15.8億円に達し、過去最高となる見込みである。

当社は、2012年より水戸に営業専任者を配置し、茨城・栃木・福島いわき・千葉銚子地区を対象に地域密着型の営業展開を推進している。現在は営業3名が常駐している。好調の背景として、当社は、基礎を含めた躯体コストを24時間で見積対応できるため、発注者や設計者が、初期段階で非常に精度の高いコストプランニングが出来ること、型枠大工や鉄筋工が不要なため、一般工法に対して低価格で短工期であることなどが挙げられる。

同地区の今期の成約棟数は16棟。内、用途別では、工場7棟、倉庫6棟、事務所1棟、その他2棟。商品別ではティオ9棟、トレオ7棟。建設地別では、茨城7棟、栃木5棟、福島いわき4棟である。1棟当たりの平均床面積は2,450㎡であった。

(※2014年度通期の受注棟数は16棟、平均床面積は2,210㎡)

一方、全国の通期受注高は190億円台に達し、5年連続で過去最高を更新する見込みである（前期185億円）。主たる販売先である「住金システム建築会」の2月末の会員数は、前期末より154社増え1,366社となった。内、同地区は15社増え59社である。



物件名／「(株)ミライト栃木技術センター新築工事」 建設地／栃木県佐野市  
用途／事務所（2階建）・工場（平屋） 商品／トレオ  
施工床面積／4,095㎡  
建築主／株式会社ミライト様 設計／株式会社茂木設計様  
施工／篠崎建設株式会社様  
特記／自由型商品のトレオを採用でデザイン、低価格、短工期が評価された。